

# 施政方針から

新津市誕生10周年を迎えて

「もっとできること」を着実に実行します

2月29日、平成28年第1回津市議会定例会の開会に当たり、前葉泰幸市長が施政方針を述べました。今号では、その主な内容を掲載します。なお、施政方針の全文については、津市ホームページでご覧いただけます。

津市 施政方針

## 新津市誕生10周年を迎えて

今年1月1日、10市町村という全国的にもまれにみる大きな合併により誕生した新しい津市は、ちょうど10年を迎えました。こうして無事に10年を迎えることができましたのも、市民の皆さまのご支援、ご協力の賜物と深く感謝いたします。



施政方針を述べる前葉泰幸市長

1月16日には、今の津市の道筋を示された合併前の市町村長様、議長様をはじめ、本市のまちづくりにご貢献いただいている数多くの方々、また、市議会議員の皆さまにもご出席をいただき、新津市誕生10周年記念式典を開催することができました。幾多の困難を乗り越え、合併という偉業を成し遂げた先人たちを前に、今の津市の行政を担う責任者として、あらためて身が引き締まる思いがしました。そして、次の10年に向けて新たなステージへと進む大きな節目を迎え、後の世の市民の皆さまに、「あの時、合併して良かった」

と必ず言っていただけるよう、今後またゆめぬ努力を重ねていく決意を新たにしました。

## 合併後10年間で進めてきたこと

合併当時、新しい津市の未来に向けた皆さまの期待や願い、思いを受け、10年間で取り組むべきとした多くのことが実現し、10の市町村が思い描いていたまちづくりは着実に進んできました。

### 各地域の最重要課題として引き継がれた20事業の推進

河芸地域の黒田幼稚園園舎改築事業、香良洲分遣所移転建設事業、美杉総合文化センター整備事業、久居駅周辺地区まちづくり交付金事業、美里地域の自然公園整備事業などの着実な取り組み

#### 4大プロジェクトなどの推進

- 新斎場「いつくしみの杜」が業務開始
- 今春には新最終処分場・リサイクルセンターが供用を開始し、JR名松線が全線復旧
- 産業・スポーツセンターが来年秋にオープン
- 今年4月に津市防災物流施設(雲出伊倉津町)が供用を開始し、道の駅津かわげが開駅

#### 地域に寄り添った総合支所に

- 総合支所に権限、財源を移譲し、人員を再配置

#### 行財政の効率化・健全な財政基盤の確立

- 職員数は2割削減し、目標より早く2,500人へ
- 臨時財政対策債と合併特例事業債を除く市債残高が合併後10年間で約3分の1へ
- 財政調整基金は全国の同規模団体の中で最大の額となる200億円まで積み増し